

弘善会グループ学術大会 抄録の書き方マニュアル

研究発表の場合

第〇回 弘善会グループ学術大会抄録の書き方 —研究発表を前提に—

弘善会矢木脳神経外科病院 〇〇科
○ 弘善太郎、矢木花子、プラチナ善次郎

【目的】研究に至った背景や理由を簡潔に記述します。
【方法】対象として使用した検体、被験者、調査対象等の概要を記述します。サンプルの抽出の仕方、環境設定への配慮なども記述します。症例比較では、集団の構成数、男女数、年齢等を明記します。実験の場合は、実験方法を記述します。調査の場合は、調査票や調査方法の説明をします。データを評価するためのデータ分析方法や統計処理方法も加えます。
【結果】結果のみを客観的に記述します。平均値、標準偏差、有意差など結果を裏付けるデータがあれば付け加えます。
【考察】結果がどのような意味を持つのか、それがどのような影響をもたらすのかなどの知見を述べます。それを裏付ける既に行われた研究などがあれば紹介します。
【結論】研究成果を簡潔にまとめます。予告的なものではなく、発表として完結した文章で記述します。

コメント [P1]: タイトルと所属・氏名は1行あける。

コメント [P2]: 研究代表者、第二研究代表者の順に記述する。
発表者の前に「〇」を付け、半角あける。フォントは日本語、アルファベット、数字ともに「MS明朝」、文字の大きさは「10.5Pt」。日本語は全角、アルファベットと数字は半角。

コメント [P3]: 所属・氏名と本文は1行あける。

コメント [P4]: 本文は、【目的】【方法】【結果】【考察】【結論】それぞれのタイトルを記してから記述する。タイトルは抄録内容によって適切に変更してもよい。フォントは日本語、アルファベット、数字ともに「MS明朝」、文字の大きさは「10.5Pt」。日本語は全角、アルファベットと数字は半角。
本文は800文字～1000文字以内とする。

コメント [P5]: タイトルと所属・氏名は1行あける。

コメント [P6]: 氏名・所属と本文は1行あける。

コメント [P7]: 本文は、【はじめに】【症例】【経過】【結果】【まとめ】それぞれのタイトルを記してから記述する。タイトルは抄録内容によって適切に変更してもよい。フォントは日本語、アルファベット、数字ともに「MS明朝」、文字の大きさは「10.5Pt」。日本語は全角、アルファベットと数字は半角。
本文は800文字～1000文字以内とする。

症例報告の場合

第〇回 弘善会グループ学術大会抄録の書き方 —症例報告を前提に—

訪問看護ステーション アロンティア〇〇
○ アロン太郎、ロゼイ花子

【はじめに】症例報告の目的を書きます。目的は端的な言葉使いで書くことがポイントです。目的の前置きや前提は最低限にとどめ、目的を明快に表すようにまとめます。
【症例】発表する症例の氏名、性別、年齢、生活歴、身長、体重などの基礎データ、症状（診断名、初回主訴、家族歴、既往歴、現病歴、現症、初回日）、検査値など、症例を把握するうえで必要な項目を記載します。個人を特定できないように氏名の頭文字をT.Mのようにアルファベット表記にします。
【経過】どのような治療計画を立て、どのような治療方法で介入したかを示します。症状の変化や新たな方法を試した時などを時系列に記載するとわかりやすくなります。
【結果】上記治療計画、治療方法によって施術を行った最終的な結果を示します。曖昧な表現ではなく出来れば定量的なものにします。事実のみを明記し、判断・意見などは述べません。
【まとめ】はじめに、経過、結果を簡潔にまとめて記述します。得られた知見や結果を箇条書きにして記述するとわかりやすくなります。

コメント [P5]: タイトルと所属・氏名は1行あける。

コメント [P6]: 氏名・所属と本文は1行あける。

コメント [P7]: 本文は、【はじめに】【症例】【経過】【結果】【まとめ】それぞれのタイトルを記してから記述する。タイトルは抄録内容によって適切に変更してもよい。フォントは日本語、アルファベット、数字ともに「MS明朝」、文字の大きさは「10.5Pt」。日本語は全角、アルファベットと数字は半角。
本文は800文字～1000文字以内とする。